PCT

特許性に関する国際予備報告(特許協力条約第二章)

(法第12条、法施行規則第56条) 【PCT36条及びPCT規則70】

出願人又は代理人

REC'D	3 1 MAR 2005
WIPO	PCT

の書類記号 PC-9130	「100分別さんついては、様式PCT/IPEA/416を参照すること。						
国際出願番号 PCT/JP2004/005568	国際出願日	9. 04. 2004	優先日 (日.月.年) 2	2. 04.	2003		
国際特許分類 (IPC) Int. Cl' F02D3.5/00							
出願人(氏名又は名称) 株式会社ケーヒン		· .			•		
1. この報告費は、PCT35条に基づき 法施行規則第57条 (PCT36条) の	この国際予備審査規定に従い送付る	E機関で作成された国際-	予備審査報告である	る。˙			
2. この国際予備審査報告は、この表紙を	含めて全部で	,	からなる。				
3. この報告には次の附属物件も添付され a	ページであ						
□ 補正されて、この報告の基礎 囲及び/又は図面の用紙(P	//2/1/01/10/2000	,	飛)				
□ 第 I 欄 4. 及び補充欄に示し 国際予備審査機関が認定した	たように、出願時 差替え用紙	における国際出願の開示	の範囲を超えた補	正を含む	ものとこの		
b	うに、コンピュー 2 号参照)	夕読み取り可能な形式に	(電子媒体の よる配列表又は配	の種類、数 !列表に関i	(を示す)。 連するテー		
4. この国際予備審査報告は、次の内容を行			•				
 ※ 第Ⅰ欄 国際予備審査報告 第Ⅱ棚 優先権 第Ⅲ棚 新規性、進歩性又 第Ⅳ欄 発明の単一性の欠 ※ 第V欄 PCT35条(2)に 	は産業上の利用可 m						
 ※ 第V欄 PCT35条(2)に けるための文献及 第VI欄 ある種の引用文献 第VI欄 国際出願の不備 第VI欄 国際出願に対する。 	- 1007.	延少性又は産薬上の利	用可能性について	の見解、そ ·	れを裏付		
国際予備審査の請求掛を受理した日							
11. 11. 2004		国際予備審査報告を作成 17.03.	炗した日 2005 -				
名称及びあて先 日本国特許庁 (IPEA/JP) 郵便番号100-8915		特許庁審査官(権限のは	5る職員)	3 G	9145		
東京都千代田区段が関三丁目4番3	1	関 義彦 電話番号 03-358	31-1101 #	5組 33 E	5.5		
			U I P	1,DX 000	,		

第 I 棚 報告の基礎	101/ 1/2004/ 005568						
1. この国際予備審査報告は、下記に示す相会は、	P.T.A. ESTRACTOR						
1. この国際予備審査報告は、下記に示す場合を除くほか、国際出願の言語を基礎とした。							
この報告は、 語による翻訳 それは、次の目的で提出された新訳すの言葉を	文を基礎とした。						
それは、次の目的で提出された翻訳文の言語である。 PCT規則12.3及び23.1(b)にいう国際調査							
PCT規則12.4にいう国際公開	<u>.</u>						
■ PCT規則55.2又は55.3にいう国際予備審	· · · · · · · · · · · · · · · · · · ·						
※ 出願時の国際出願書類							
明 明細書							
第 ページ	、 出願時に提出されたもの						
~~~~~~~~~~~~~~~~~~~~~~~~~~~~~~~~~~~~~~	* At the second of the second						
第 ページ	*、 付けで国際予備審査機関が受理したもの						
: 請求の範囲	一一一 一一 一 一 一 一 四 田 旦						
第	<b>川岡時に担用される。</b>						
第 項	、 出願時に提出されたもの *、 PCT19条の規定に基づき補正されたもの						
第	*、						
第 項	けいて国際ア伽番登機関が受理したもの付けで国際予備審査機関が受理したもの						
図面							
第 第	出願時に提出されたもの						
2:	Address Colleges to the state of the state o						
第 ページ/図*	付けで国際予備審査機関が受理したもの						
□ 配列表又は関連するテーブル	一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一						
配列表に関する補充概を参照すること。							
・ 一 補正により 下部の事類が関係という							
補正により、下記の書類が削除された。	• .						
□ 明細書							
頭求の範囲 第	^~~ジ						
図面 第	———— 項						
配列表 (具体的に記載すること)	ベージ/図						
<b>配列表に関連するテーブル(具体的に記載</b>	すること)						
・ この報告は、補充欄に示したように この想法が							
えてされたものと認められるので、その補正がお	こ添付されかつ以下に示した補正が出願時における開示の範囲を超されなかったものとして作成した。 (PCT規則70.2(c))						
	-40%からたものとして作成した。 (PCT規則70.2(c))						
□ 明細書 第 □ 請求の範囲 第	~~·>						
□ 図面 第 ■ 図面 第	項						
配列表(具体的に記載すること)							
□ 配列表に関連するテーブル(具体的に記載す	-A L)						
	300						
	•						
	·						
	·						
4. に該当する場合、その用紙に "superseded" と記入	( おれる ことがも ェ						
	C400 C C 11400 00						
	1						

特許性に関する[	国際予備報告 国際出願番号 PCT/JP2004/005	
第V棚 新規性、進歩性又は産業 それを裏付ける文献及び	上の利用可能性についての注意18条(BS--	
1. 見解		
· 新規性 (N)	請求の範囲 <u>1,2</u> 請求の範囲	有 無
進歩性(IS)	請求の範囲 <u>1,2</u>	有無
産業上の利用可能性 (IA)	請求の範囲 <u>1,2</u> 請求の範囲	有無
2. 文献及び説明(PCT規則7	0.7)	
文献1:JP 58-2 全文,第2図	2 7839 A(三菱電機株式会社)1983.02.18, 「(ファミリーなし)	
& US 54	5 7 0 3 6 A (ローベルトボツシュ ゲゼルシャフト ミツテル ハフツング) 1993.06.22, 第1図 3 2 7 0 1 A & DE 4 1 1 5 0 3 2 A 5 6 9 2 8 A	۲.
請求の範囲1、2に係より進歩性を有しない。 気管の径の大きさに対 べき設計的事項に過ぎ	る発明は、国際調査報告で引用された文献1または文献26 。絞り弁の設置位置と吸気量センサの設置位置の距離を、吸 してどの程度にすべきかということは、当業者が適宜選択す	こ 及 ト